

登録コード	ASA03608	開講年度	2026				
授業科目	特別研究					担当教員	高谷 智英
英文授業名	Special Research					副担当	
単位数	10	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期		対象学生
講義室				授業形態	演習	備考	修士2年
信大コンピテンシー	非該当						
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔	【授業の達成目標】
	2026ASカリ, 2025ASカリ, 2024ASカリ, 2023ASカリ						
	【専攻】生命科学, 食品科学, 食料生産および環境の保全と修復などの分野における幅広い体系的な基礎学力と実践的技術力とともに高い研究開発能力を修得している。					⇔	研究テーマに関する体系的な知識と技術を身に付け、科学的に解決する能力を身に着ける。
	【専攻】農学分野で必要とされる情報収集・分析能力, 批判的思考力を有し, 農学分野での研究成果を発信できるグローバルな情報発信能力を有する。					⇔	研究テーマについて自ら問いと仮説を設定し、科学的な成果を発信する能力を身に着ける。
授業の概要	特別研究を通じて、以下の事項を実践する。 1. 世の中の問題を把握する（研究テーマの設定） 2. 仮説を立てる（既存の知見からの推定） 3. 仮説を判定する（実験によるエビデンスの収集） 4. 実験結果を解釈する（データの解析） 5. 研究内容を説明する（理論の構築）						
Contents:	研究背景の理解：先行研究の調査 研究課題の設定：解決すべき問いの明確化 研究手法の選択：仮説にアプローチする手段の構築 データの解析　科学的妥当性の検討と評価 研究成果の発表：論理的文章力・プレゼンテーション能力の養成						
授業計画	研究テーマを設定し、仮説を立て、それを証明するために実験し、結果を解釈し、データをまとめ、他者に理解できるように発表し、新たな研究につなげます。						
成績評価の方法	特別研究では、自分で考え、自ら学ぶ姿勢が不可欠です。						
成績評価の基準	実験への取り組み、実験結果のまとめ方、研究内容の理解と表現を総合的に判断して評価する。						
事前事後学習の内容	特別研究中は不断の学習が不可欠です。						
履修上の注意	必要に応じてテストやレポートを求めます。						
質問,相談への対応							
学生へのメッセージ	対象学生：修士2年生。開講形式は研究室ごとに異なるので注意して下さい。						
【教科書】	特別攻研究に必要な教科書を適宜指定する。						
【参考書】	特別研究に必要な学術論文を適宜指定、または自身で検索する。						